

漢文『矛盾』定期テスト対策問題 | 書き下し・現代語訳・句法の頻出設問と解答

解答・解説

問1

- (1) ひさ (ぐ)
- (2) 売る。(商品として売り出す、の意味。)

問2

- (1) 否定(「～するものがない」という打ち消しを表す。ここでは「貫けるものは何もない」という強い否定。)
- (2) 莫…なし(なき) / 能…よく

問3

- (1) 「無(なし)」と「不(ず)」が重なった二重否定で、「～しないものはない」、つまり「すべて～する」という強い肯定の意味を表す。ここでは「貫けない物など一つもない=どんな物でも貫く」と、矛の鋭さを最大限に強めている。
- (2) 物に於いて陥さざる無きなり。

問4

読み：ある(ひと) / 意味：あるひと。(その場に居合わせた、名前の知れない誰か。)

問5

あなたの矛で、あなたの盾を突いたら。

※「子」は相手を指す言葉で、「あなた・きみ」の意味。ここでは商人を指します。

問6

- (1) いかん
- (2) 疑問(相手に「どうなるか」を問いかける表現)。
- (3) あなたの矛で、あなたの盾を突いたら、どうなるのか。

問7

- (1) 「能(よく) = ～できる」を「弗(ず) = 打ち消し」で否定しているので、「～することができない」という不可能(不可能を表す否定)の意味になる。
- (2) 其の人応ふること能はざるなり。

問8

先に「私の盾はどんな矛でも突き通せない(絶対に貫けない)」と言い、あとで「私の矛はどんな物でも突き通す(必ず貫ける)」と言ったため、「その矛でその盾を突いたらどうなるか」と問われると、どちらを認めても自分の前の発言を打ち消すことになり、答えようがなかったから。

問9

楚人に盾と矛とを鬻ぐ者あり。

※「有～者」は「～する者あり(～する人がいる)」と読みます。

問10

楚の国の人で、盾と矛とを売る者がいた。

問11

吾が盾の堅きこと、能く陥すもの莫きなり。

問12

私の盾の堅いことといったら、(これを) 突き通せるものは何もない。

問13

読み：とほ(す) / 意味：突き通す。貫く。(盾や矛などで物をつらぬくこと。)

問14

私の矛の鋭いことといったら、どんな物でも突き通さないものはない(=何でも貫く)。

問15

読み：ほ(めて) / 意味：ほめる。(ここでは自分の商品をほめあげて売り込むこと。)

問16

その商人は(問いに) 答えることができなかった。

問17

・盾について：「どんな矛でも、この盾を突き通すことはできない」

・矛について：「この矛は、どんな物でも突き通す」

この二つは、同じ商人が同時に言っているのに両立しない(一方が正しければもう一方が成り立たない)。※この食い違いが「自己矛盾」です。

問18

意味：二つの物事のつじつまが合わないこと。前に言ったことと後に言ったことが食い違っていること。

教訓(例)：物事を大げさに言いつぎると、かえって自分の言葉どうしが食い違って信用を失うことがある。発言する前に、前後でつじつまが合っているかを確かめることが大切だ。(自分の言葉で書けていれば正解。)

問19

(例) 彼の話は、昨日の説明と今日の説明とで矛盾している。 / (例) 規則を守れと言いながら自分は破るのは矛盾だ。——「前後で食い違う」意味で使えていれば正解。

問20

(1) 法家(ほうか)

(2) 国を治めるには、人の情けや道徳に頼るのではなく、はっきりとした「法(きまり)」と「罰」によってきびしく治めるべきだ、という考え方。

問21

人物名：韓非(かんび)。

時代：戦国時代の末。

問22

(例) 漁夫の利／五十歩百歩／蛇足／推敲／杞憂／助長 など。(漢文の故事からできた言葉が一つ挙げられていれば正解。)